

回答書（議事録）

（Ⅰ）報告事項

【資料Ⅰ】健康福祉部の機構と人事異動について

意見・質問 特になし

【資料2～7】第7期計画期間中の介護保険事業の実績報告について

意見 ●ほぼ順調に進んでおり、適正と認めます。

意見 ●資料2の認定者数・認定率の減少を総合事業等の効果と結びつけるのはもう少し周辺状況を吟味してからの方が良いと思います。多角的な視点が重要と思います。

意見 ●宗像市の認定率の低さ、給付費の低さには驚かされています。地域支援事業等が確実かつ有効に実施されているものと思われます。それは認定者数も少なくなり元気な高齢者が増加する、関係者の努力の賜物だと思えます。また、収納率が高いことで介護保険事業も安定した運営が可能です。

意見 ●資料3の訪問入浴の増加が目立ちます。外出できず家でのサービスを考えたら入浴が大切になることが見てとれます。

質問① ●資料2、3の数値等の推移と分析における認定者数・認定率について、総合事業の展開による奏功がみられたことは喜ばしいことです。ただ、認定更新手続きに案内を行っていないことの影響もあるのではないのでしょうか。

→【回答①】

多少の影響はあるかと思いますが、H28年3月末をもって更新時期をお知らせする個別通知は廃止しており、4年余りが過ぎております。

更新申請をされる方は、一般的に事業所と契約をされ、ケアプランに基づきサービスを利用されているため、ケアマネが更新時期を把握しており、代理で申請をされています。市では、利用者様のご入院中（医療対象）などといった現状を把握できないため、不必要な申請（お守り認定）をなくすためにもあえて更新のお知らせを廃止し、更新の必要性についてはケアマネ等に委ねている状況です。

時々、サービス利用のない方のご家族の方が更新の申請にいらっしゃいますが、「介護認定がないと不安だから」「認定には時間がかかりすぐに利用できないから」と言った理由がほとんどです。

市では、有効期限が切れてしまっても、新規申請をすれば申請をした日から暫定でサービスを利用することができることを説明しています。また、介護保険制度はサービス利用そのものが目的ではなく、サービス利用により状態が良くなってもらうことを目的としているもので、介護サービスが必要な方に適切な量のサービスを供給するためにも、真に要介護認定が必要になった時に申請を行うことが適正な手続きである旨の説明も行っています。

質問②

●資料4の一般介護予防事業が令和2年度激減しているのが気になります。

➡【回答②】

新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、感染への不安から交流会等が多数開催中止となったこと、また、各団体の活動を支援するための研修会等についても開催を見合わせ、健康づくりリーダー養成講座1回のみ開催としたことから、例年より参加者数が減少しました。

このような状況下でも交流会等が開催できるよう感染対策を講じた運営方法について支援を行うとともに、活動量等の低下を予防するために自宅でできる運動の資料を作成・配布する等の情報提供を行いました。引き続き、感染対策を講じた交流会開催支援等、必要な対策や支援を行っていきます。

意見

●資料4の家族介護支援

- ①家庭介護講座が有る事はとても良い事だと思います。
- ②携帯端末機貸与は役に立つことはないような気がします。

意見

●資料4の住宅生活の支援

以前要支援2になり、手すりその他つけていただきました。とても助かりました。有り難うございました。よければもう少し対応を早くして戴ければ嬉しいです。

【資料8】令和2年度日常生活圏域地域包括支援センター事業実績報告について

意見

●対応の概念がよくわかりません。本資料も数値も大事ですが、事例を積み上げてノウハウを培うことが大切と考えます。その中で包括間で情報共有し、力を付けていくのが良いと思います。ノルマや数字に追われるのではなく、真に地域住民のために地域のケアマネのために動くしくみをつくと笑顔で働くことができると思います。

質問③

●資料8相談内容の虐待疑い、とても気になり残念です。どんな風に対応されているのでしょうか。

➡【回答③】

虐待疑いの対応は、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、各地域包括支援センターと宗像市(基幹型)地域包括支援センターで情報共有をし、必要な情報収集を行った後、虐待の有無の判断、対応方針、対応計画等の会議を行いながら対応しています。

【資料9】認知症初期集中支援チーム活動実績について

意見 ●対応の概念がよくわかりません。本チームの活動については、数字も大切ですが、一つ一つ事例を積み上げてノウハウを培うことが重要と考えます。

質問④ ●包括支援センターの実績報告でも記載されていましたが、地区によって対応件数に差がかなりあります。また、吉武・赤間・赤間西包括と玄海・池野・岬・大島包括では8月と9月の対応件数が特に多いようですが、暑さと関係があるのでしょうか。

⇒【回答④】

地区による対応件数の差については、一つの事例で短期間に複数回対応が必要な事例があったことによるものです。特に8月と9月に相談件数が多かった要因は、盆休などで帰省した家族からの相談や、熱中症対応等により短期間に複数回対応が必要な事例があったことによるものです。

【資料10】令和2年度事業所の指定状況について

質問⑤ ●貴市の遊休財産が存在すれば、公募に応募した事業者に一定期間無償貸与を行う等の方法はとれませんか。

⇒【回答⑤】

市の管財係に確認したところ、施設規模に応じた場所、土地形状等を踏まえると、運営に適した市有地は少ないとのことでした。まずは、従来通り自由競争による公募を実施し、並行して応募が無かった場合に市有地を無償貸与することも視野に入れて検討したいと考えています。

その場合は、可能な限り既に事業参入している事業者との公平性に配慮した条件等の設定を行いたいと考えています。

(2) 審議事項

【資料11】「宗像市『地域包括支援センター』運営方針」の改訂(案)について

賛成：13人、未回答：2人

質問⑥ ●5、6ページの表の最下行に市全体としての65歳以上人口／地区人口／率(28,891人／96,990人／29.8%)を追加してはいかがでしょうか。また、表中の各地区毎にも率を追記してはいかがでしょうか。R3.4.1のデータではありますが、運営方針改定時の状況として理解しやすいのでは。

⇒【回答⑥】

ご意見ありがとうございます。65歳以上の高齢者人口割合の記載追加により地区の状況の理解がしやすいことから、善処します。

その他

自由記入欄

●コロナ禍で、大きなクラスターもなく各事業が運営されているのは評価できると思います。高齢化の中で、介護認定者が減少傾向で給付費の伸びもなく財政的にもよいと思いますが、よりいっそうきめ細かな介護事業をされて高齢者・弱者が取り残されないまちづくりをお願いします。

●コロナ禍にあって大変な状況の中、「第8期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定をされましたことお疲れさまでした。市民生活の大切な基本計画です。本当にお疲れさまでした。